

令和5年8月 教育委員会定例会議事録

1. 日 時 令和5年8月24日(木) 午後2時00分 開会
午後3時30分 閉会
2. 件 名 河南町教育委員会定例会
3. 開催場所 河南町役場 庁舎4階 大会議室南
4. 出席委員 教 育 長 中川 修
教育長職務代理者 西川 幹雄
委 員 藤原 充
委 員 高井 美恵子
委 員 杉田 みはる
5. 事務局職員 教・育部長 谷 道広
教育課長 藤井 康裕
こども1ばん課長 山田 恵
生涯まなぶ課長 森 弘樹
給食センター所長 浅井 明郎

(審議内容)

| | |
|-----|---|
| 教育長 | <p>昨日が、二十四節季でいうと、処暑となって、暦の上では、暑さが落ち着いてくると言われるのですが、今年は、今までにない暑さとか、危険な暑さとか、命に関わる暑さとか、と言われ出して、暑さが厳しくなってきたと感じるのは、私だけじゃないと思います。</p> <p>最近の天気で怖いのは、急変するということ。用心してたととしても、その用心を上回ってくるような、なおかつ、どこで何が起こるか分からない。</p> <p>いろんなニュースを見ると、例えば、高齢の方が、家屋がすごい被害にあったと。</p> <p>何十年間、ここに住んできたけども、こんな被害は初めてというのがある。日本全国どこでも起こりうる。</p> <p>大阪の方でも、6月2日、大雨があつて、あのときには、町内でも、結構、被害が出ましたが、この間の台風7号の被害は、幸い、6月2日と比べたら、それほどではなくて、約5件の報告を受けてまして、道路が通行止めになるとかいうことはなかったのですが、弘川寺の桜の木が、倒れてしまって、その近辺の道をちょっと塞いでしまったということがありましたが、それ以外、大きなものはなくて、ちょっとほっとしているのですけれども、今後も何が起こるかわかりません。</p> <p>この9月1日は二百十日といって、ちょうど立春の頃から210日目ぐらいが、台風が来て、いろんな被害が出てくると言われています。</p> <p>もうひとつ、二百二十日というものもあるみたいです。2学期が始まった頃というのが、僕の記憶の中でも、始業式の日には台風が来て、結局1日ずらすみたいなことがあったりとか、まだ子どもが学校に慣れてないのに、緊急にいろんな対応をしなければならないということが、過去にあったようなことも覚えてます。</p> |
|-----|---|

学校が来週から始まるのですが、この時期、天候のことについては、気をつけていかないといけないと思っています。

また、これは去年もお話したかもしれませんが、戦後 78 年。もうすぐ 80 年になる。

この時期は戦争とか平和とか、特に、8 月 6 日、8 月 9 日、8 月 15 日っていう、忘れてはいけない日があるので、テレビ報道でもありましたし、また、新聞とか様々あったと思います。

子どもたちも目にすることがあると思いますし、しっかりと取り上げて、特化するわけではありませんが、考える機会を作っていくべきだと思います。

これは 1 学期も含めて、毎年ですが学校現場にも伝えていきます。各発達段階に合わせて、何かできることがないのかなど。

それは、大人が考えるばかりじゃなくて、今、自分は何ができるのか。例えば、さっきの台風のこと、自分のところではないけども、被害を受けた土地の方がおられる。そのことを知って、じゃ、自分は何ができるのか、あるいは、今も戦争はいけないと言いながらも、全然収まりません。ロシアの侵攻であるとか、あるいは、北朝鮮のミサイルのことであるとか様々ある。

それは、子どもたちも小学生 1 年生なりに、中学校 3 年生なりにそういうことを感じたときに、何ができるのか。

我々は学校教育を通して、何かいろんなことを自分で考えて、他人ごとじゃなくて自分ごとと捉えて、何か行動していく、そういう子どもたちを作っていく、育てていくことが大事と思っています。それは、2 学期初め、校長会・教頭会もありますし、改めて今までも伝えてはきましたが、再度、確認させていただきたいと思っていますし、いろんな意味で、自分で決める子を育てていきたいとそんなふうに考えております。

2 学期が始まりまして、この時期、学校へ行きたくないということで、自分の命を自分でという件数も増える時期だと言われているので、それは学校現場も意識していますし、子どもの様子を注視しながらスタートしていくことを共有していきたいと思っています。

後で報告があると思うのですが、この間、委員さんにもいろいろと参加もしていただいてありがとうございました。イングリッシュキャンプは、先週 17、18 日だったかな。今週は、昨日出発で、TGG、東京グローバルゲートウェイの方へ、今、行っています。その近況報告とかも含めて、また、案件がでております。

イングリッシュキャンプは、西川委員にもご参加いただいて、去年と雰囲気が違うのは、40 人という規模と、今年の ALT たちの動きが非常に良かったと思っています。自分も関わる時間が、去年よりはちょっと増えて、びっくりするぐらい英語しか聞こえてこなかった。去年と比べて成果はあったかなと思っていますので、TGG もいい顔で帰ってきてくれることを期待しています。

今日もいくつか案件ありますが、2 学期の初め、子どもたちの様子を注視しながらスタートしたいと思っています。

| | |
|------|---|
| | <p>それでは、5年8月の教育委員会定例会を開催します。</p> <p>それでは、まず初めに、本日の定例会につきましては傍聴の申し出はございません。</p> <p>次に、本日の出席者は5名です。定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に、会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、高井委員に決定してよろしいでしょうか。</p> |
| 委員全員 | <p>——— 異議なしの声あり ———</p> |
| 教育長 | <p>ご異議ないようですので、会議録署名委員は高井委員に決定いたしました。</p> <p>それでは、議事を進めさせていただきますが、本日は議案がありませんので、2つ目、「第2. 諸報告、その他について」を進めさせていただきます。</p> <p>その中で、まず1つ目、「(1) 教育に関する事務の点検及び評価報告書（令和4年度（2022年度）実施分）について」事務局の説明を求めます。</p> |
| 事務局 | <p>「(1) 教育に関する事務の点検及び評価報告書（令和4年度（2022年度）実施分）について」</p> <p>——— 資料に基づき説明 ———</p> |
| 教育長 | <p>この件について何かご質問等ございますか。</p> |
| 委員 | <p>一点だけ。60 ページですが、タイトルが、教育の質のさらなる向上ということで、僕も、かねてからすごく英語教育については興味があって、いろんなセミナーの研修とか、Web の情報で集めたりしてるんですけども、一つだけ問題点があるので、そこだけ指摘しておきます。</p> <p>これ全般としてね、河南町の問題というか、日本国全体の問題なんですよ。日本の ICT 環境はまだまだ脆弱で、ちょっと資料が古いんですけども、2018 年度調査では、OECD 加盟国 37 の中で、日本は学校事業におけるデジタル機器の使用時間が、残念ながら最下位。</p> <p>ICT 活用自体が目的じゃない。これ、私の考えです。</p> <p>1 人 1 台端末、高速インターネットをツールとして、私たちが本来めざすのは、これからの Society5.0 時代の予測不能な未来を生きる子どもたちのために、個別最適化された創造性を育む教育が必要であろうと思います。その予測不能な未来を生きる中で、AI、人工知能というのはこれからますます出る。ロボットも出ていく中で、AI にも弱点があるんですよ。AI の弱点を、これから子どもたちがしっかり研修し、見つければ、予測不能な時代を力強く生きていくという思いがあります。</p> |

AI の弱点を A4、1 枚にまとめました。

本当に、この未来が見通せない予測可能な世界。これ、ビジネスの世界でも言えるのですが、今までの経験値が全く役に立たない時代に入ってます。過去にこうだったから、こうなるであろうということが、非常に困難な時代です。

この中で、僕は子どもたちについて、教育はどうあるべきかということをもとめてみました。

AI ではなく、人間にしかできないこと、とは。五つまとめました。

読解力。AI は単に膨大なデータを丸暗記してるだけ。だから、この読解力が必要な問題には AI は答えられない。

この読解力、人間も、実は苦手なので、小学生のうちから本、教科書をしつかり読み解く力を育てることが大切だと思います。

丸暗記は、表面上の物事を暗記しているだけにすぎず、物事の本質は全く理解できていない。

二つ目、僕はすごく大事だと思います。

「なぜ」と疑問をもつこと。

疑問、なぜ、なんでだろう。多くの気づきが生まれる。

こうなんだ、こうすればいいんだ、と想像力が芽生え、考えることでたくさんが発見が生まれます。

この「なぜ」という感情をもつのは、非常に大切なことで、大人は、このなぜにしっかりと答えてあげることが大切です。

AI は、なぜという疑問は全くもちません。疑問は全くもっていません。

三つ目、想像力。

なぜだろう。この疑問、好奇心から考える力と創造力が生まれます。

そして、人間は新たなものを開発することができる。膨大なデータの記憶、そして、その分析能力は AI は確かにずば抜けている。この想像する力は AI にはありません。

人間の創造する力で世界を進化してきました。普段から未来を切り開く能力を高めるために、なぜ、好奇心、探求心、これを抱いて物事を観察する習慣を身につけたものです。

四つ目です。

コミュニケーション能力。

AI は蓄積したデータから聞かれた質問には答えられるが、過去の記憶や相手の体調を気づかう話などは AI には全くできません。

このコミュニケーション能力こそが、AI にはない能力であり、感情がない AI に打ち勝つためにも集団の中で、相手の気持ちを思いやり、また、自分の感情をコントロールしながら、それぞれの意見を集約するコミュニケーション能力を高めていきたいと思っています。

最後です。

問題解決能力、AI は問題解決プログラムを搭載していれば解決できますが、そのプログラミングがされていないケースでは答えが出てこない。

| | |
|------------|--|
| <p>教育長</p> | <p>人間は何かトラブルがあると、過去の体験や経験値から問題を解決しようとしてします。この問題解決能力も、コミュニケーション能力とともに非常に大切だと思います。</p> <p>以上、簡単にまとめました。</p> <p>この情報を皆さんで共有していただければと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>AIと言われてから10年近くなってきましたし、当初、AIが出てきたら、それこそ何十年か先には、今の仕事が半分ぐらい減ると。でも、減らない部分は何なのか、というのが、まさにここにまとめていただいているようなことだったと思いますし、教育の世界では、この部分がものすごく大事な部分なので、改めてまとめていただいたのと、GIGAスクールを推進していく上でも、大事な視点だと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>他、何かありますか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>26ページの子育て支援の推進で、学習セミナーの実施がされてるってことなのですけれども、これは対象者っていうのは誰でも行けるものではないのでしょうか。</p> <p>実際、具体的に週に1回とか月2回とか、どういうふうな形で開催されてるものなのか、もう少し説明していただけると。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>まず、委員さん、このセミナーご存知ですか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>馴染みないですね。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>馴染みない。</p> <p>では、少し説明を。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>町主催の事業ではないのですが、富田林の子ども家庭センターが中心になりまして、事業を展開しておられます。大阪府内の全市町村に向けて発信してる事業でして、いちばん目指すところというのは、福祉的な意味合いが強いものなのですが、河南町としましては、この受講できる対象を特に要件を求めているということとはございません。</p> <p>河南町の中学校を通じて、各世帯にご案内を差し上げて、希望する生徒たちがこの講義を受けられるということで、主に、塾の講師であるとか学校の先生のOBであるとか、そういった方々を講師に迎えまして、塾のような形で何名かを一つの場所に集めて、そこで、先生が授業、質問ということに答えてくれ</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>るということをしております。</p> <p>週に1回ということで土曜日、午後に実施をしておりますけれども、河南町では、定員は20名程度で募集しているものに大きく超える応募があります。</p> <p>今回、ご紹介してる令和4年度でいきますと、33名参加ということなのですが、毎回、毎回、この33名が全員というわけではございませんが、やはり、かなりの参加者数があるということで、この取り組みをされてるところでも、河南町は非常によく参加していただいているということで、おっしゃっていただいているという事業です。</p> |
| 委員 | どこにあるんですか。 |
| 事務局 | やまなみホールでやっています。 |
| 委員 | やまなみホールに他所の市町村からも来られてるのか。 |
| 事務局 | <p>町だけです。</p> <p>それぞれの市町村で、こういった場所を提供しています。</p> <p>そして、先生は子ども家庭センターが中心になって、集めて来て教える。</p> |
| 教育長 | 毎回、その指導者がやってみて、報告書を上げてくれるので、我々の中でも情報共有はさせていただきながら進めてるところであります。 |
| 事務局 | <p>塾のような形で勉強を教えてもらって、例えば、宿題のヘルプをしてもらったりとか、あとわからないところっていうのを聞けるという環境で授業をしていると聞いております。</p> <p>受験前には、赤本を買って、皆さんに渡して、そういうのを対策してもらおうと、というような取り組みもあります。</p> |
| 教育長 | <p>よろしいですか。</p> <p>他はどうでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>串田先生の(3)番の中で、河南町が、長年、取り組んでる読書感想文コンクールについて、ご提案いただいているってことにすごく興味がありまして。</p> <p>やっぱり今までは、夏休みの宿題になってたりだとか、子どもたちに任されている部分が多かったと思うのですがけれども、こんなふうにツールを蓄えていかないといけないってところとか、表現のパターンを類型化した教材を与えるっていう、ここだけすごく具体的に提案されてると思うのです。</p> <p>ということは、教育大でもそういうようなことに取り組んでおられるっていうのであれば、学校ともしっかり連携をとって、具体的な教材とか、そんなものが</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>教育大からもう提案いただけたりとかね、そういうようなプリントが使えるのであれば、今年度は4年度の評価意見書なので、5年度についてはそういうものをもっと具体的に取り入れて、学校で検証していくっていうようなことも、進めていったらいいのではないかと。教育大の研究の一端を担うじゃないけれども、河南町の子どもたちにとって、とにかく書く力をつけるっていうことが、もうどこの学校も課題になってると思うのでね。</p> <p>今年度は、ぜひその教材を取り入れたらいいのではないかなというふうに思います。</p> |
| 教育長 | <p>これは活かしていく方向で、また、進めていただいたらと思います。</p> <p>他どうですか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは次に、「(2) 令和5年度小中学校におけるいじめの状況調査（4月～7月）等について」をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>「(2) 令和5年度小中学校におけるいじめの状況調査（4月～7月）等について」</p> <p>——— 資料に基づき説明 ———</p> |
| 教育長 | <p>この件についてご質問等ございますか。</p> <p>いじめは、当然、引き続き取り組んでいくことは大事だし、不登校の数字についても、様々な理由がありますし、その部分では、今、町の方でも、ほこすぎルームの出張型であるとか、いろんな形でサポートしていきたいと思っています。</p> <p>今後も、できることがあるのであれば、新たに取り組んでいきたいと考えているところです。</p> |
| 委員 | <p>それぞれの小学校に不登校の子どもたちが、そこで一旦落ち着くような場所を作ってもらってると思うのですが、それぞれの運用状況を知りたいです。</p> |
| 教育長 | <p>さくらルームとなないろルームですね。</p> |
| 委員 | <p>先生の手配をどうしてるのかとか、子どもたちがその場所において安心できてるのかっていうあたりに目を配ってきたい。学校には行くけど、そこから保健室に行ってるのか、それとも、とりあえずこっちの部屋にいるようになって</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>るのかっていうあたりを学校の方に聞きたいと思います。</p> |
| 教育長 | <p>そうですね。今後、研究授業で皆さんにも学校に行っていただく機会があります。研究授業ということで、授業の様子見に行くので、その時間帯にその部分がかうまく活用できてるかどうかってわからないのですが。</p> <p>さくらルームはご覧になられましたか。</p> |
| 委員 | <p>はい。</p> |
| 教育長 | <p>ちょっと説明ありますか。</p> |
| 事務局 | <p>概要だけお話をさせていただきたいと思います。</p> <p>かなん桜小学校は、さくらルームということで、また、近つ飛鳥小学校の方は、なないろルームということで、中学校については、特に名称はないのですが、職員室の前の会議室とかを活用して、なかなかクラスに入りにくい子どもたちの居場所ということで、ほこすぎルームは、学校とは別の場所にあるのですが、学校の中にそういう居場所を作って学校に行く。そこからさらに最終的には、教室に入っていけるようにつなげていくということで運用されています。</p> <p>当然、各お子さんの状況によって、今、登校刺激をするのがいいのか。それとも、その時期じゃないのかってところは、学校の先生とか、あとスクールカウンセラーとか専門家も含めて、その時期を探りながら個別に対応してるという状況です。</p> <p>その中でも、ほこすぎルームに行くのが適切な子は、ほこすぎルームをご案内しますし、学校の中で居場所を作ることによって、例えば、給食時間の前後だけでもというのが徐々に増えて、何かの授業の時にはクラスに入るようになったりとか、そういったところを見守りながら、サポートしているという状況なのです。</p> <p>基本的には学校の先生のそれぞれの空き時間といいますか、本来ならば丸付けをするような時間とかをうまくやりくりをされて、個別の教室における生徒対応、児童対応ということでしていただいているのですが、学校の先生の負担は正直あろうかと思います。</p> <p>その中で、今年度につきましては、ほこすぎルームの拡充ということで、学校に出張して、学校の先生ではなく、ほこすぎルームの指導員が対応するというので、学校の現場の負担も軽減をしながら、子どもたちの居場所を、教育環境を確保していくということで試行的にしているという状況です。</p> |
| 教育長 | <p>まだまだ始めたばかりだし、より良い形を模索していかないといけない。</p> <p>それで、どういう成果があるのか。ただやってるだけではいけないし、子どもが安心できているのかどうなのか、そのあたりの実績を積み上げながら、我々</p> |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----------|-------------|-----|-----|----|-----------|-------------|---------|-----|--|----------|------------|---------|-----|----|
| | <p>としては、それが本当に必要であれば、例えば、そこへ行く回数であるとか、あるいは、人材の確保であるとか、今後、展開していければなと思っています。そういうことも含めて、子どもたちにとって居場所がある、安心できる学校を目指していきたいと考えています。</p> <p>他よろしいですか。</p> <p>次に、「(3) 令和5年度 運動会及び体育大会の日程について」事務局から説明をお願いします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務局 | <p>「(3) 令和5年度 運動会及び体育大会の日程について」</p> <p>——— 資料に基づき説明 ———</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育長 | <p>この件について何か。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>では次、「(4) 令和5年度河南町立学校校内研究授業の視察について」説明をお願いします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務局 | <p>「(4) 令和5年度河南町立学校校内研究授業の視察について」</p> <p>——— 資料に基づき説明 ———</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育長 | <p>どうしましょう。今年。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 各委員 | <p>——— 日程等調整 ———</p> <p>※ 調整の結果、下記のとおり研究授業を視察</p> <table border="0"> <tr> <td>10月20日(金)</td> <td>13:25~14:15</td> <td>中学校</td> <td>1年生</td> <td>英語</td> </tr> <tr> <td>10月30日(月)</td> <td>13:35~14:20</td> <td>かなん桜小学校</td> <td>全学年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月1日(水)</td> <td>9:40~10:25</td> <td>近つ飛鳥小学校</td> <td>5年生</td> <td>体育</td> </tr> </table> | 10月20日(金) | 13:25~14:15 | 中学校 | 1年生 | 英語 | 10月30日(月) | 13:35~14:20 | かなん桜小学校 | 全学年 | | 11月1日(水) | 9:40~10:25 | 近つ飛鳥小学校 | 5年生 | 体育 |
| 10月20日(金) | 13:25~14:15 | 中学校 | 1年生 | 英語 | | | | | | | | | | | | |
| 10月30日(月) | 13:35~14:20 | かなん桜小学校 | 全学年 | | | | | | | | | | | | | |
| 11月1日(水) | 9:40~10:25 | 近つ飛鳥小学校 | 5年生 | 体育 | | | | | | | | | | | | |
| 教育長 | <p>最後、「(5) その他」ですが、何か事務局からありますか。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務局 | <p>イングリッシュキャンプ、中学生異文化体験型研修について概要報告をさせていただきます。</p> <p>8月17日(木)・18日(金)、1泊2日で、貝塚の府立少年自然の家及びぷくぷくドームで実施しました。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

当日は、5年生が8名、6年生が22名、中学1年生が10名、計40名が参加し、1グループ5人ずつ、8つのグループに分かれ、各グループにALTが1名ずつ付くという、子どもたちが外国人の先生と十分触れ合える環境で実施しました。

ぷくぷくドームでの最初のオリエンテーションでは、海外の国々のあいさつやクイズ、歌、ゲームなどでアイスブレイクを行って緊張をほぐし、施設に移動してからは、晩御飯の後、キャンプファイヤーを行い、燃え盛る炎を囲んでのジェスチャーゲームや目隠し鬼ごっこなど、英語と体を使ってのアクティビティを行い、和気あいあいと非日常の時間を過ごしました。

2日目の最後の修了式の頃には、グループ同士・参加者同士、またALTともすっかり打ち解けており、各自、かなり積極的に英語で話せていました。

自然に囲まれた環境の中で、同年代同士での宿泊体験を通しての友達作りや、外国人が実際に話す、生きた英語に触れあい、また自ら声を出して話すことにより、英語学習の楽しさを実感していたように思います。

終了後のアンケートにつきましては、まだ集計途中ではありますが、「最も楽しかったアクティビティは」という質問では、やはり「キャンプファイヤー」と回答した参加者が圧倒的に多くいました。また自由意見では、「外国人の先生と喋れていい経験となった、英語を話す機会が増えて嬉しかった」という意見や「また来年も参加したい」と答えた参加者が多数いました。

2日目朝に、体調を崩した子が3人おり、そのうち1人は保護者の方に現地へ迎えにきていただきましたが、残りの39人は、バスで無事に到着し、元気にキャンプを終えることができました。

なお、初日のオープニングでは、教育長に英語で、素晴らしい激励のあいさつをいただき、またキャンプファイヤーをご見学くださいました西川委員につきましてもお疲れ様でした。ありがとうございました。

イングリッシュキャンプの報告は以上になります。

続きまして、ちょうど現在、中学2・3年生の25人が、昨日23日から2泊3日で、東京お台場にある東京グローバルゲートウェイで異文化体験型研修を行っている最中です。

今回は研修に先駆け、本町ALTにお手伝いいただき、8月2日に事前研修を行い、顔合わせしておりました。当日は藤原委員にご覧いただき、ありがとうございました。

それもあり昨日の出発時には、心の準備もでき、参加者同士、グループ同士で打ち解けていたように思います。

研修施設でございますが、海外でのあらゆるシーンを想定した、かなり充実したところで、本当に外国に降り立ったような空間となっています。ちょうど今の時間帯は、トラベルゾーンを体験中です。具体的には、海外旅行中での買い物や模擬ファーストフード店で希望の食べ物の注文をするというミッションに取り組んでいるところで、頑張ってくれているところだと思います。

明日、昼に施設での研修を終え、カナダ大使館を見学後、夜7時半頃に河南

| | |
|------------|---|
| <p>教育長</p> | <p>町へ帰ってくる予定でございます。以上、2点、ご報告いたします。</p> <p>明日、帰ってきてから、感想も含めて報告を聞きたいと思います。また、アフターフォローも考えていきたいと思います。来年に向けても、いろんなことを検討しなければいけない。タイムスケジュールが実施者側も負担が大きく、2週にわたって、1泊2日と2泊3日ということで過酷でした。このあたりの見直しも必要。イングリッシュキャンプの時期、あるいは、あり方も再度、見直していけばいいかなと思っています。</p> <p>それから、TGGについては、来年はシンガポールについていうことも含め、ただ混沌とする国際情勢なので、以前も国際情勢の中、行かないという苦渋の決断をした年もあって、その時は国内の福島県に行ったというようなこともあります。</p> <p>今ね、我々の目標としては、グローバル化ということで、何とか海外で生の体験してほしいという気持ちは変わらないのですが、安全がいちばん大事だし、昨日、出発のときに見て、いろんな人の意見聞くと、以前シンガポールへ行く時の緊張感と、昨日 TGG 行く前の緊張感とでは、若干ちがうというか、海外に今から行くという時は、子どもたちもものすごい緊張があったということ。</p> <p>今回、同じ2泊3日とはいえ、同じ国内の中で、東京という安全安心は、一応担保されたところに行くということなのですが、何もシンガポールが、安全安心、担保されてないわけじゃないんですけど、行くにあたって、やっぱり飛行機に乗る等、様々なこともあるので、来年に向けては、経過報告等はさせていただきたいなと思いますけど、グローバルについては変わりなく、進めたいなと思っています。</p> <p>今回のこと、振り返りも含めて、また、来年につなげていきたいなと思っています。</p> |
| <p>委員</p> | <p>TGG は終わった後の報告会とか、そういうのはないのですよね。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>今、どうなのかな。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今のところはないです。</p> |
| <p>委員</p> | <p>シンガポールの時は、行って帰った後に、どんなことやったかっていうことを発表しないといけなかった、という話を聞いたので。</p> <p>子どもも家庭の親もそうですけど、せっかくやるなら報告会も、というところ、感じるところがありました。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今回は、アンケートだけでいいかなとは思っておるのですが、シンガポールとなれば、きっちりしたいなと思っています。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | シンガポールは、スクリーンで画像を映しながらやりましたね。発表、反省会をやりましたね。 |
| 教育長 | そのあたり、今後、帰ってきた様子も含めながら、また考えましょう。 |
| 委員 | 希望ですけど、LINE のチャット画像とかリアルタイムの情報というのは、委員も見れるようにしていただけたらありがたい。 |
| 教育長 | 例えば、修学旅行とかでも、これは、私個人の考え方だけど、引率してるってことは、すごいそこに注力してるので、学校によっては、その都度、その都度の映像配信とかあるけど、それは帰ってきてからでもいいかな。 その辺は、また今後、考えていけばいいかなと思います。 |
| 委員 | 参考ですけど、石川こども園が、お泊まり保育を白浜でしているのですよ。 白浜の白良浜で泳いでる風景とか、ランチタイムで浜辺で食べてる風景とか、それをチャットグループみたいなもので配信している。 保護者はそれを見て、安心してます。 |
| 委員 | 例えば、感想をちょっとした英文に台本見ながらでもいいから 1 人ずつがちょっとだけしゃべってる映像を私たちだけが見るとか。楽しい見学の要素を入れていただいているのはすごくいいと思うのですが、楽しみに出かけていった感がすごくあって、もうちょっと研修っていう気持ちでいってほしいというのが、正直、親としてあったので、町のお金も使っていただけてますし、プレッシャーになるのもよくないかなとは思っているのですが、本当に簡単な形で、例えば、レポート書いて出させるだったら、負担にもなるのかなと思うので、今の子は、SMS に上げるような感覚で、動画を撮るから、決められたサイトに自分で 1 分間の感想とか、やったこととかをしゃべってる動画送ってくれてもいいし、何かしら事後のアクションっていうのが、あったらいい。 |
| 教育長 | 今年、できるかどうかは分かりませんが、よくわかりました。 負担かけない程度の中で、何かしないといけないっていう気持ちは、せっかくの体験だからある。今からでもできる形を考えてみてもらっていいかな。 |
| 事務局 | 映像の撮影は難しいと思います。 |
| 委員 | 今回、イングリッシュキャンプに寄せていただいて、今までよりも一番よかったかなあというふう感じたし、集団活動は、普通の勉強と違って、子どもたちの心に残る。 例えば、ALT さんとのふれあいとかね、そういうことを経験していくのであつ |

| | |
|-----|---|
| | <p>て、基本的に、子どもがどれだけ充実してるかっていうところがポイントと思います。</p> <p>だから、今回、どれだけ効果が上がったかというふうな費用対効果、そういう言葉もある。</p> <p>だから、おっしゃってることはよく分かりますが、子どもたちが、充実して帰ってくるのが一番と思うので、そこは、あんまり広がらない方が。</p> <p>僕はそこに重点を当てて活動していくのが大事な。そういう意味では、今年、子どもたちもよく動いてたし、よかったなという感想を持っています。</p> <p>だから、十分、町のお金を使って値打ちがあるかなあと。</p> <p>そこをいつも考えて、どれだけ値打ちがあるかなあというところを中心にやっていただけたら嬉しいかなと思います。</p> <p>子どもさんの活動の様子も、十分、後で見れたらいいけど、そこは押さえながら、やっていただけたらいい。</p> <p>せっかくやったことがね、変な広がりを持って、子どもに迷惑かけてもいかなかなあというのも、いつも思うので。</p> <p>いくつか意見が出たので、今年、すぐについていうのはあるかもしれないけど、来年の活動には必ず活かしていきたい。</p> <p>今、様々な意見は、どれもごもつとも思うし、その中でまたよりよいものにしていけば一番いいのかなと思います。</p> <p>他にないですか。</p> |
| 教育長 | <p>給食センターからご案内です。</p> <p>教育センターが、教育委員の皆様にご覧いただきたく思っております。</p> <p>9月、10月、11月で教育委員さんのご都合のつく、負担がかからない日程でお願いしたいと考えております。</p> <p>一つの案としましては、9月29日の定例会の後、給食センターにて、試食していただくパターンとか、10月、11月、定例会の方を決めていただくかなと思うんですけども、午前中に開いていただいて、11時半ごろから30分ほどですけれども、試食をしていただくというパターン。また、11月についても、また研修ある時があると聞いておるんで、その前ちょっと時間を取っていただいて、試食していただくパターン、そういうのをいろいろ考えられるかなと思いますんで、日程調整の方お願いしたいと思います。</p> <p>なお、試食については、一食280円の負担をお願いしたいと思っております。ご審議の方よろしく申し上げます。</p> |
| 事務局 | <p>——— 日程等調整 ———</p> |
| 委員 | |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>※ 調整の結果、9月29日（金）定例会後に給食試食</p> <p>それと参考に、9月分の献立と、まだ今、10月分は献立作成中で、献立作成委員会終わったところで、案という形でお渡しさせていただいておりますので、また見ていただければと思います。</p> |
| 教育長 | <p>10月の定例会は、10月30日の研究授業視察後の開催といたします。</p> <p>他にないようでしたら、以上をもちまして本日の日程はすべて議了いたしましたので、8月の教育委員会定例会を閉会いたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> |

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名